



カガクでネガイをカナエル会社

2027年3月期第1四半期 決算説明資料

2026年8月13日(木)
株式会社 **力ネ力**



2027年3月期IQ 決算サマリー 01

業績概要 02

事業概況 04

貸借対照表 09

連結業績予想などの将来予測情報 10

トピックス 11

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2027年3月期1Q 決算サマリー

2027年3月期1Q 実績

売上高
2,230億円
(対前年+12.3%)

営業利益
149億円
(対前年+83.1%)

親会社株主に帰属する
四半期純利益
89億円
(対前年+109.8%)

- 売上高・営業利益：四半期ベースで**過去最高**を更新
- 営業利益は、**対前年および対前年4Qで大幅な増益**
- 全てのユニットで「**増収・増益**」

営業利益増減要因（前年同期比）

（増益要因）

Material・QoL SU：安定供給を徹底し、価格改定を実施

Medical：海外向け拡販やM&Aの効果が貢献

Supplement：グローバルで還元型Q10が販売増

Foods：高付加価値品へのシフトが進展、価格改定も実施

業績概要

(単位:億円)

	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	増減(対前年同期比)	
			金額	%
売上高	1,987	2,230	243	12.3%
営業利益	82	149	68	83.1%
経常利益	60	138	77	127.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	43	89	47	109.8%
営業利益率	4.1%	6.7%		
1株当たり四半期純利益	67.74円	148.46円		

為替・原料価格

期中平均レート(米ドル)	144.6円	159.6円
期中平均レート(ユーロ)	163.8円	185.4円
国産ナフサ	66,300円	125,000円

(前年同期比)

- 売上高 : 増収
- 営業、経常、純利益 : 増益

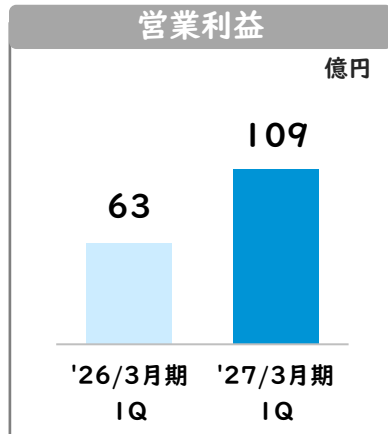
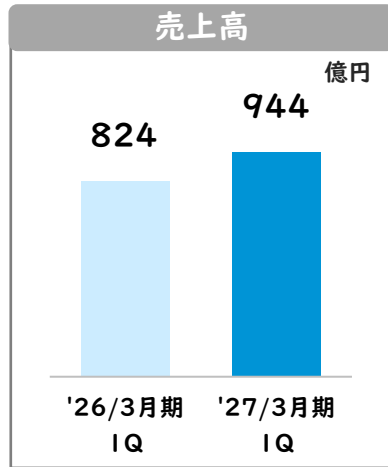
セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	増減		2026年3月期 1Q	2027年3月期 1Q	増減	
			金額	%			金額	%
Material SU	824	944	121	14.7%	63	109	46	73.3%
Quality of Life SU	485	538	54	11.1%	52	70	18	34.5%
Health Care SU	183	220	38	20.5%	31	35	4	11.3%
Nutrition SU	493	524	31	6.3%	27	34	7	25.5%
その他	3	3	0	5.1%	1	1	0	9.1%
調整額	-	-	-	-	△ 93	△ 99	△ 7	-
計	1,987	2,230	243	12.3%	82	149	68	83.1%

※SU:Solutions Unit

事業概況



(Material Solutions Unit)

安定供給に徹底して取り組み、価格改定を実施 ⇒ 増収増益

Vinyls and Chlor-Alkali

- 1Q実績 : 安定供給を徹底し、製品価格に反映
- 2Q以降 : スプレッド安定化を推進

Performance Polymers (MOD)

- 1Q実績 : 全拠点の販売堅調。差別化製品を安定的に供給し、価格改定を実現
高付加価値製品 (MX) の販売拡大
- 2Q以降 : 高付加価値品 (非塩ビ・MX) の拡販を推進

Performance Polymers (MS)

- 1Q実績 : 他素材からの置換が進展
製品の安定供給を最優先し、価格改定も実施
- 2Q以降 : セメダインとの協業による拡販を推進

Green Planet

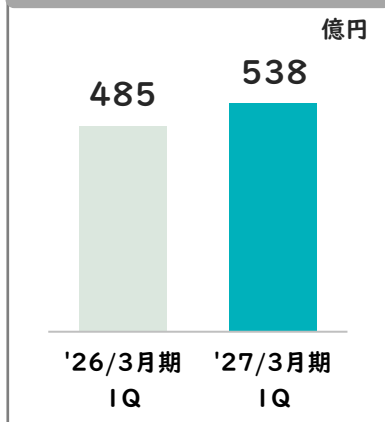
- 1Q実績 : 人工芝など新規用途での採用が拡大
- 2Q以降 : ブランドホルダーとの協業により、国内外でカトラリー・包材等での採用が進む

事業概況

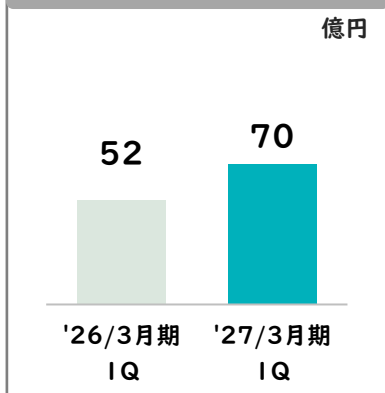
(Quality of Life Solutions Unit)

全SVの堅調な販売 ⇒ 増収増益

売上高



営業利益



Foam & Residential Techs

- 1Q実績 : 農水産・建築分野で販売増
安定供給とコストダウンにも努め、価格改定を実現
- 2Q以降 : 安定供給の継続によりスプレッド維持

E & I Technology

- 1Q実績 : 大型液晶TV向けの光学用フィルムは販売好調
スマホ市場の生産調整影響により、ポリイミドフィルムは伸び悩み
- 2Q以降 : 高付加価値グレード(高周波PI・光学用アクリル樹脂改良品など)がさらに拡販

PV & Energy management

- 1Q実績 : 国内戸建て住宅向け高効率太陽電池の販売堅調
- 2Q以降 : タンデム型ペロブスカイト太陽電池の量産技術開発を推進

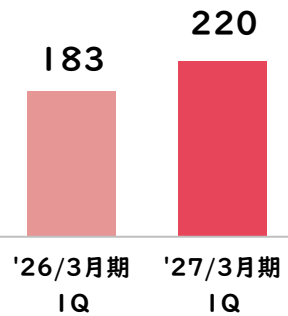
Performance Fibers

- 1Q実績 : 頭髮製品・難燃ファブリックともに販売堅調
- 2Q以降 : 製品ラインアップ拡充による市場拡大が進む

事業概況

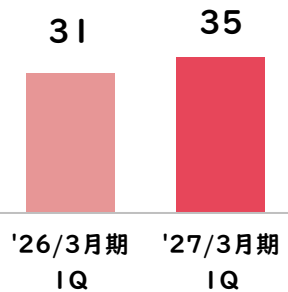
売上高

億円



営業利益

億円



(Health Care Solutions Unit)

強いMedicalが全体を牽引 ⇒ 増収増益

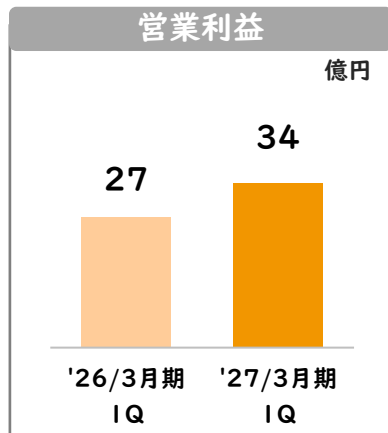
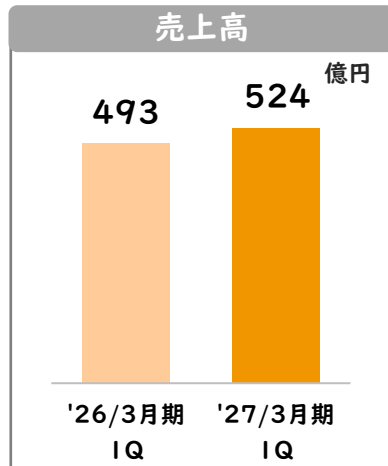
Medical

- 1Q実績 : 血液浄化器・カテーテルともに販売拡大
海外向けの拡販、M&Aが業績に貢献
- 2Q以降 : 新製品拡販・販売地域の拡大（アジア・米国など）が進展

Pharma

- 1Q実績 : 前年4Qでの販売集中の影響を受けた
- 2Q以降 : 低分子・バイオ医薬品の案件・売上増

事業概況



(Nutrition Solutions Unit)

好調なSupplementの販売、Foodsの収益性向上 ⇒ 増収増益

Supplemental Nutrition

- 1Q実績 : 米国・アジアを中心に還元型Q10の販売増
乳酸菌も着実に販売が伸長
- 2Q以降 : 米国・アジアを中心に還元型Q10の増販が進む

Foods & Agris

- 1Q実績 : 高付加価値品へのシフトが進展、価格改定も実施
- 2Q以降 : 「B2C」製品のさらなる拡販、価格改定による収益改善を見込む

セグメント別 売上高・営業利益 1Q実績 (対4Q比)

➤ 前年4Q業績を超え、強いモメンタムが加速

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2026年3月期	2027年3月期	増減(対4Q比)		2026年3月期	2027年3月期	増減(対4Q比)	
	4Q	1Q	金額	%	4Q	1Q	金額	%
Material SU	857	944	87	10.2%	72	109	37	51.8%
Quality of Life SU	490	538	49	10.0%	37	70	33	89.5%
Health Care SU	257	220	△36	△14.1%	53	35	△18	△33.8%
Nutrition SU	527	524	△3	△0.5%	42	34	△9	△20.5%
その他	3	3	△1	△22.0%	2	1	△1	△31.7%
調整額	-	-	-	-	△99	△99	△1	-
計	2,134	2,230	97	4.5%	107	149	42	39.7%

※SU: Solutions Unit

営業利益差異要因

- Material : Vinyls・MOD・MSいずれも安定供給に努め、価格改定も実施
- QOL : Fiber 前年4Qの定修影響が無くなり販売増。Foam 数量増および価格改定
- Health Care : Medical グローバルでの販売が拡大。Pharma 前年4Qへの出荷集中
- Nutrition : Foods 収益性の向上。Supplement 前年4Qは大幅販売増

貸借対照表

(単位:億円)

		2026年3月末	2026年6月末	増減
資産の部	流動資産	4,657	4,843	186
	固定資産 等	4,934	4,987	53
	資産合計	9,592	9,830	239
負債の部	有利子負債	2,114	2,248	135
	その他	2,261	2,305	43
	負債合計	4,375	4,553	178
純資産の部	自己資本	4,987	5,042	55
	非支配株主持分 他	230	235	5
	純資産合計	5,217	5,277	61
負債、純資産 合計		9,592	9,830	239
自己資本比率		52.0%	51.3%	
D/Eレシオ		0.42	0.45	
1株当たり純資産		8,279.85円	8,383.31円	

- 総資産 : 棚卸資産・有形固定資産増などにより増加
- 負債 : 仕入債務・借入金増などにより増加
- 純資産 : 配当支払い・自己株式増の一方、利益剰余金増などにより増加
- 自己資本比率 : 51.3%

連結業績予想などの将来予測情報

➤ 2Q以降の世界経済見通し

- ✓ 中東情勢をはじめ予断を許さない事業環境が継続する
- ✓ 市場はボラティリティが高いと想定

➤ 業績予想に関する説明

- ✓ 2Q以降も安定供給を徹底
- ✓ 一部では原価の上昇が続く見通しであるが、
スプレッドを守ることに注力
- ✓ 重点領域のHealth Careを中心に収益拡大
目指すポートフォリオの姿に向けて加速
- ✓ 2026年5月14日公表の連結業績予想は変更しない
業績見通しの確度が高まった段階で速やかに修正予定

〈参考〉2027年3月期 連結業績予想
(2026年5月14日公表値)

	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (予想)	(単位:億円)	
			増 減	
			金額	%
売上高	8,116	8,200	84	1.0%
営業利益	329	360	31	9.4%
経常利益	289	320	31	10.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	310	315	5	1.7%
営業利益率	4.1%	4.4%		
1株当たり当期純利益	501.26円	523.04円		
1株当たり配当金	160.00円	210.00円		
ROE(自己資本当期純利益率)	6.4%	6.2%		
為替・原料価格				
期中平均レート(米ドル)	150.7円	150.0円		
期中平均レート(ユーロ)	174.6円	170.0円		
国産ナフサ	65,025円	120,000円		

トピックス -Green Planetの採用拡大-

シマノのルアーに採用

- シマノの高度な設計・製造技術とGreen Planetの材料特性を融合
- 海や川で紛失しても、微生物の働きにより、CO2と水に分解
⇒ マイクロプラスチックによる環境汚染問題の解決に貢献



Green Planetを使用したルアーの一例

商品名: Salvage Solid 70S (提供: 株式会社シマノ)

生分解性人工芝が自治体で初採用

- ミズノと共同開発した生分解性人工芝が、
奈良県磯城郡田原本町の防災公園「ともば!たわらもと」に採用
⇒ 人工芝破片の海洋流出によるマイクロプラスチック問題に対応



生分解性人工芝敷設後の屋根付き広場

< お問い合わせ >

(株)カネカ IR (Investors Relations) 部

 **03-5574-8090**